

科目名	ポルトガル語Ⅱ(応用) Portuguese Ⅱ		担当教員 (研究室番号)	宮坂 ヘジーナ (非常勤)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	kyomutanto@ml.mcn.ac.jp					
履修年次	1年次後期	科目区分	教養・基礎科目		選択区分	選択	単位数(時間)	1(30)	授業形態	講義	科目等履修生	否
											オープンクラス	否
科目目的	三重県に多数移住しているブラジル出身者の母語であるポルトガル語について、基礎レベルの文法・会話を学ぶ。また、ブラジルの文化・習慣や医療関連のポルトガル語について学ぶことで、医療現場におけるポルトガル語話者との相互理解を目指す。											
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	B 多様な考え方や様々な背景を持つ人々の特徴を理解するための、幅広い教養を身につけている。(知識・理解)										
	関連するDP	D 様々な職種との連携において、看護専門職者としての役割を果たすためのコミュニケーション能力を身につけている。(技能・表現)										
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ポルトガル語文法の基礎が理解できる。 ポルトガル語会話の基礎が理解できる。 ブラジル文化について概略を説明できる。 医療現場におけるポルトガル語の基礎が理解できる。 											
成績評価方法(基準)	定期試験60%、レポートと課題40%											
再試験の有無と基準等	授業期間中に提示する。											
教科書	浜岡 究「ゼロから話せるブラジル・ポルトガル語」 改訂版 三修社 (ISBN98 - 4 - 384 - 05681 - 5)											
参考書等												
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	日常生活や仕事の様々な場面でポルトガル語を使用出来るようにしたいと思います。ポルトガル語を通じて楽しく視野を展開し、興味を持ってもらえば良いと思います。外国語を勉強することは、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングだけではなく、ジェスチャー、サイン、シンボル、音もあります。よって、生徒の参加が重要となります。ロールプレイもあります。ブラジルの文化や習慣などについても紹介する予定です。											
備考	人数制限は特に設けない。											
回	学習項目					学習内容					主担当教員	授業方法
1回	オリエンテーション 「...は何所ですか?」					前期の授業の流れと課題内容を把握する。 Ser動詞現在形、場所の副詞を学ぶ。					宮坂	講義
2回	「...は何所ですか?」					Estar 動詞現在形、病院内の場所、Estar動詞とser動詞の使い分けを学ぶ。					宮坂	講義
3回	おなかがすいた!					Estar動詞現在形(精神的、肉体的な状態や痛み)、体の部位を学ぶ。					宮坂	講義
4回	日本は寒いです!					Estar動詞現在進行形、天候を学ぶ。					宮坂	講義
5回	「...が欲しい」「...がしたい」					Querer動詞の現在形					宮坂	講義
6回	「何歳ですか?」 「私は...を持っています」					Ter動詞の現在形の用法①を学ぶ。					宮坂	講義
7回	「...しなければなりません」					Ter動詞の現在形の用法②を学ぶ。					宮坂	講義
8回	「...する事ができますか?」					Poder動詞の現在形の用法①を学ぶ。①Saberとconseguirの違い。					宮坂	講義
9回	「...してもらえますか?」					Poder動詞の現在形の用法②を学ぶ。					宮坂	講義
10回	昨日の出来事①					直説法完全過去形(規則動詞)と副詞					宮坂	講義
11回	昨日の出来事②					直説法完全過去形(不規則動詞)					宮坂	講義
12回	「...しましょう!」					Ir動詞の現在形					宮坂	講義
13回	病院①					問診 身体					宮坂	講義
14回	病院②					問診 入院患者のケア					宮坂	講義
15回	まとめ					後期に説明をしてきた文法事項等を再確認する。					宮坂	講義

学 習 課 題

7回目課題 授業の前にそれぞれの答えを用意しておきます。

9回目課題 レポートはA4に400字3枚、自分自身の考えを書くこと。

実務経験を活かした教育の取組